

## 再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道8号 <small>とやまたかおか</small> 富山高岡バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局						
起終点	自：富山県富山市金泉寺 至：富山県高岡市四屋	延長	24.8 km								
事業概要	一般国道8号富山高岡バイパスは、広域的な幹線道路ネットワークの充実強化、交通渋滞の解消、死傷事故の削減などを目的とした、延長24.8kmのバイパス事業である。										
S41年度事業化	S45年度都市計画決定 (S48, S49, H5, H18年度変更)	S42年度用地着手	S42年度工事着手								
全体事業費	約570億円	事業進捗率	86%	供用済延長	24.8 km						
計画交通量	40,000～55,300台/日										
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.3 (残事業) 1.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 65 / 2,323 億円 (事業費：54/2,038億円) (維持管理費：11 / 285億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 123 / 7,593 億円 (走行時間短縮便益：58/6,260 億円) (走行経費減少便益：42/ 962 億円) (交通事故減少便益：24/ 370 億円)	基準年	平成25年						
感度分析の結果	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">[事業全体] 交通量：B/C=3.1～3.6 (交通量±10%)</td> <td style="width: 50%;">[残事業] 交通量：B/C=1.9～2.2(交通量±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費：B/C=3.3～3.3 (事業費±10%)</td> <td>事業費：B/C=1.7～2.1(事業費±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間：B/C=— (事業期間±20%)</td> <td>事業期間：B/C=— (事業期間±20%)</td> </tr> </table>					[事業全体] 交通量：B/C=3.1～3.6 (交通量±10%)	[残事業] 交通量：B/C=1.9～2.2(交通量±10%)	事業費：B/C=3.3～3.3 (事業費±10%)	事業費：B/C=1.7～2.1(事業費±10%)	事業期間：B/C=— (事業期間±20%)	事業期間：B/C=— (事業期間±20%)
[事業全体] 交通量：B/C=3.1～3.6 (交通量±10%)	[残事業] 交通量：B/C=1.9～2.2(交通量±10%)										
事業費：B/C=3.3～3.3 (事業費±10%)	事業費：B/C=1.7～2.1(事業費±10%)										
事業期間：B/C=— (事業期間±20%)	事業期間：B/C=— (事業期間±20%)										
事業の効果等	<p>定性的な効果</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 北陸新幹線 新高岡駅・主要観光地間へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・富山県西部地域唯一の新幹線新駅である北陸新幹線、新高岡駅へのアクセス向上、観光地間のアクセス時間が短縮することによる観光圏域拡大、交流人口の拡大が期待される。</li> </ul> </li> <li>② 第三次医療施設へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第三次医療施設（厚生連高岡病院）への搬送時間が短縮し、救命救急活動支援に寄与することが期待される。</li> </ul> </li> <li>③ 緊急通行確保路線ネットワーク機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道8号の信頼性が向上し、災害時における緊急通行確保路線のネットワーク機能の強化及び並行路線の代替路として期待される。</li> </ul> </li> <li>④ 日常生活圏の各市町村間の連携を強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活圏内（富山市役所～高岡市役所、射水市役所～高岡市役所）の所要時間が短縮し、各都市間のアクセス向上が期待される。</li> </ul> </li> </ol>										
関係する地方公共団体等の意見	<p>地域から頂いた主な意見等： 射水市から整備促進の要望を受けている。</p> <p>知事の意見： 事業継続に同意する。 なお、今後ともコスト縮減に努め、早期に効果が発揮されるよう整備促進に格段の配慮を願いたい。</p>										
事業評価監視委員会の意見	対応方針については、北陸地方整備局原案を妥当と判断する。										
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和62年度までに全線4車線完成</li> <li>・平成17年11月 新湊市、小杉町、大門町、大島町、下村が射水市として合併</li> <li>・平成17年12月 下田交差点の立体化事業が完成</li> </ul>										
事業の進捗状況、残事業の内容等	昭和42年度に工事着手して、事業進捗率86%、そのうち用地進捗率97%となっている。										
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	坂東交差点立体化の道路改良工事を平成27年度の開通を目指して事業を推進する。										
施設の構造や工法の変更等											

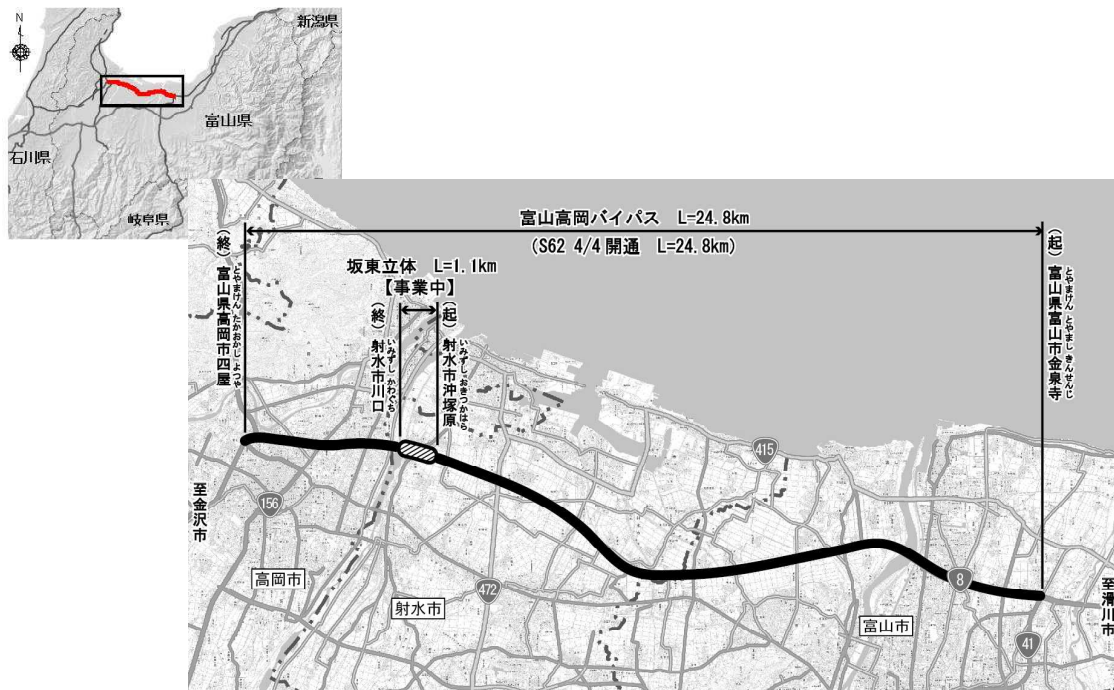
施設の構造や工法等に変更はないが、引き続きコスト縮減に取り組んでいく。

対応方針 : 事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性・重要性は変化なく、費用対効果等の投資効果も確保されているため。

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。